
多面的機能支払 メールマガジン
「農村ふるさと保全通信」 第 124 号(2023. 4.24)
農林水産省農村振興局 多面的機能支払推進室



高めよう 地域協働の力!

多面的機能支払のメールマガジン「農村ふるさと保全通信」の第124号をお届けします。今回の活動組織紹介では、①地域の住民やボランティア団体との連携、子供達を対象とした自然観察会の実施、広報誌やカレンダーなどを活用した活動のPRを行っている組織、②遊休農地で栽培したそばを使用した「そば祭り」を開催し、そこでパネル展示により本交付金のPRを行い、今では活動に地域の7割近い非農家が参加している組織について紹介します。女性役員へのインタビューでは、それまでは育成会代表だった方が活動組織の役員となり、子育てをしながら、子供たちと一緒に活動を行う活動を計画し、活動の幅が広がるとともに地域住民が活動への関心を高めている事例を紹介します。また、活動組織の広報誌紹介では、広報誌を多くの方に読んでもらえるように、読んでくれた方にお礼を伝えるなどの工夫している組織をご紹介します。

--第 124 号の目次-----

1. 活動組織の紹介

☆^{まくた}馬来田地区武田堰環境保全会（千葉県^{きさらづ}木更津市）☆

☆^{いなづみ}稲積地区みどりの会環境保全会（富山県^{いみす}射水市）☆

2. 女性役員へのインタビュー

☆^{わごう}和合農村地域を守る会（山形県^{あさひ}朝日町）☆

3. 活動組織の広報誌紹介

～^{はやかわ}早川地域^{しちのへ}水土里保全の会（青森県七戸町）

（編集後記）

■ 1. 活動組織の活動紹介(1) ～馬来田地区武田

堰環境保全会(千葉県木更津市)～ ■

～地区概要～

本活動組織は、千葉県と神奈川県を結ぶ東京湾アクアラインの玄関口、木更津市の東部に位置する馬来田地域を拠点に活動している。

活動範囲は、田 139ha、畑 2ha、草地 3ha、農道 14.8km、水路 31.5km となっている。

～主な取組～

- ◎本組織は農業者だけでなく、地域住民や地域に流れる武田川沿いに植栽を行うボランティア団体も活動に参加しており、共同活動が非常に活発な組織です。
- ◎武田川沿いの道では春は桜と菜の花、秋はコスモスの植栽を行い、「武田川コスモス・菜の花ロード」の愛称で親しまれる遊歩道となっています。また、地元主催の「武田川こすもすフェスティバル」(現在は新型コロナウイルス蔓延防止のため中止)では、県内外から多くの観光客が訪れ地域全体の活性化につながっています。
- ◎また、地域で「いっせんぼく」と呼ばれる湧き水は多様な生物の生息場所となっており、子供達へ地域環境を保全する取組を伝承することを目的に、いっせんぼく周辺で自然観察会を開催しています。
- ◎これらの活動は、毎年9月に発信している広報誌「たけだ川」、12月に作成している「活動カレンダー」を毎戸や地元商店に配布し紹介しています。また、地元の自然豊かな環境や寺院、万葉歌碑等の場所を記したマップ「うまくたの路」を公民館や道の駅にて配布しています。今後も景観維持活動に努め、地元の魅力を発信してまいります。

【馬来田地区武田堰環境保全会 代表 小倉】



コスモス・菜の花ロード 春の風景



コスモス・菜の花ロード 秋の風景



こすもすフェスティバル風景



いっせんぼく湧水

編集担当 SDGs コメント

植栽活動により、多くの観光客が訪れ地域の活性化につながっていることは、目標8(地域における所得向上や雇用の確保を図る。)に貢献しています。また、地域の環境を保全するため、子供達を対象とした自然観察会は目標 11(住み続けられる地域をつくる。)に貢献しています。菜の花等の四季を感じることのできる景観形成の活動を応援しています!



etc.

■ 1. 活動組織の活動紹介(2) ～稲積地区みどりの会環境保全会(富山県射水市)～ ■

～ 地区概要 ～

本活動組織は、富山県西部の射水平野のほぼ中央に位置する平地農業地域を拠点に活動している。

活動範囲は、田 69.5ha、畑 0.9ha、農道 16km、水路 16km となっている。

～ 主な取組 ～

- ◎ 本組織は、平成 20 年度から本交付金を活用し、地域内の共同作業をはじめとした農村環境の保全に努めています。
- ◎ 令和元年度より本交付金を用いて遊休農地を活用したそば栽培を行っており、町内会を始め営農組合、女性部、集落内のそば打ち名人等の協力のもと、収穫したそばを使用し、オール稲積の「そば祭り」を開催しています。そば祭りでは、本交付金の活動についてパネル展示等を行い、広く住民に PR しています。今では水路の泥上げ等の活動にも地域の 7 割近い非農家の方が参加するなど、本交付金の活動が地域住民に根付いてきています。
- ◎ 今般のコロナ渦の影響で町内会行事が次々中止となる中、少しでも集落を明るくしたいという思いで、令和 2, 3 年度はそば打ちしたものを各家庭へ配達するという形で開催しました。特に令和 2 年度のそばは天候にも恵まれ、収穫量は令和元年度の約 4 倍にもなり、風味もよく、公民館まで足を運べない高齢者の方や多くの住民から非常に好評でした。今後も農家・非農家に関わらず地域住民が協働して活動を続けていきます。



農家・非農家が協働で行う
水路泥上げ



咲き誇るそばの花



そば祭りの様子（令和元年度）

【稲積地区みどりの会環境保全会 代表 鷲本 祐大】

編集担当 SDGs コメント

本交付金の活動で遊休農地を活用し、地域で収穫したそばを使用した「そば祭り」を開催し、農村コミュニティの強化につながり、目標 11(住み続けられる地域をつくる。)に貢献しています。また、本交付金の活動を PR することで地域住民に活動が根付いていることは目標 12(持続可能な生産・消費を進める。)に貢献しています。

本交付金の活動をより多くの方にご理解いただきたいですね！



etc.

■2. 活動組織の女性役員インタビュー わごう ~和合農村地域を守る会 (山形県朝日町) ~ あさひ

○組織の概要

- 活動範囲：田 16ha、畑 164ha
- 対象施設：水路 19.5km、農道 18.0km、ため池 5箇所
- 活動期間：平成 19 年度～
(現計画)令和 4 年度～令和 8 年度



佐藤菜美さん 三橋妙さん

山形県朝日町は、りんごの名産地として知られています。中でも和合地区は、果実に袋をかけずに栽培される“無袋ふじ”発祥の地とされ、太陽の光を浴びたりんごは糖度が高く、蜜もいっぱい入って格段の美味しさです。山々に囲まれた丘陵地帯で、用水の確保に苦勞してきた当地区は、ため池や水路などの施設が多く、地域農業は果樹を主体としています。

○役員になったきっかけ

令和 4 年 4 月から活動組織の役員となった三橋妙さん、佐藤菜美さんは、Uターンして就農した若手果樹農家です。佐藤さんの旦那さんも今年 4 月に就農しました。

和合農村地域を守る会の菅井会長、平事務局長は、妙さん、菜美さんの両親と同世代。妙さん菜美さんは、地域交流館「友和館」建設時のワーキング部会に育成会代表としてこれまで関わってきました。その姿を見てきた菅井会長は、今度は活動組織の役員として“地域を変えるための提案をしてほしい”との強い思いから、ふたりを約 1 年かけて説得。4 月から組織役員として加わることになりました。



役員会の状況

○大切にしたい「和合の農業」

今年度計画の更新にあたり、「和合の農業をいかに守れるか」「地域の子どもたちに和合の農業を伝えたい」という役員たちの思いから、地域の活性化をめざす増進活動として、遊休農地を活用したサツマイモの植付け収穫体験を計画。活動の幅を広げ、子どもと関わる場、女性役員の提案を活かせる場、として位置付けました。



サツマイモの植付け体験

妙さんは、りんごの樹があった和合小学校が廃校となってから、地域の子どもたちにりんごや畑に触れる機会をつくりたい、と考えていたため、サツマイモの体験はそれを叶え

る活動となっています。また、菜美さんも、子どもたちと一緒に活動できることに喜びを感じています。ふたりは、同時に役員に誘われたからこそ、引き受けることができた、とおっしゃっていました。

○役員になって

ほとんどが雨水頼りの地域において、大切な水をいかに確保しているか、役員として水路の点検を行うことで、改めて知ることができたそうです。

まだまだ子育てに忙しいふたりの状況を理解して、活動にあたっての土台作りは、菅井会長と平事務局長がフォローしてくれます。来年度には、さらに活動しやすいように、意見や提案をしながら進めていきたいそうです。

ふたりが役員として加わってから、地域の方々の活動組織への関心は高くなりました。

菅井会長は、「役員として無理のない環境を整えることで、後継者を育成し、地域活動を継続していきたい。ゆくゆくは地域をまとめる存在に。」とふたりに期待を寄せています。



取水口から農地まで4 km程の水路を管理している



地域の関心が高まり、参加者が多くなった植栽活動



ふたりのよき理解者菅井会長から学ぶことが多い

【 和合農村地域を守る会：山形県 】

和合農村地域を守る会

代表 菅井賢一さん

事務局長 平雅之さん

事務局 三橋妙さん

事務局 佐藤菜美さん

編集担当 SDGs コメント

活動組織内において、性別関係なく計画策定や運営に関わることは目標 16(多様な主体の参画による地域づくりを促進する。)に貢献しています。ますます活動が活性化するよう応援しています！



etc.

■3. 活動組織の広報誌紹介 ～^{はやかわ}早川地域水土里保全の会(青森県^{しちのへ}七戸町)～

広報誌・自治会だよりの概要

本組織の広報誌は、平成29年度に創刊して以来、年1回発行し続けています。主に組織の構成員が写真撮影、事務局が記事を作成し、内容の確認を行ったうえで、構成員には総会資料とともに送付するほか、作業時には構成員以外の地域の方（農家・非農家を問わず）への配布も行っています。

※「早川地域水土里保全の会」では後平地区、柳平地区、曙地区、蒼前地区、館ノ沢地区、猪ノ鼻地区、舟場向地区、榎林地区の8地区が一つの組織として活動に取り組んでいます。

☆広報誌発行の経緯☆

本組織は8つの地区が集まり一つの組織として活動しているため、構成員が多いことが特徴です。多面の活動に非農家を含む多くの参加者がいるため、活動組織の活動情報を地域に広く届けるため、広報誌の発行を開始しました。

☆広報誌の内容☆

遊休農地未然防止のための花の植栽や花壇の管理作業、集落の資源及び環境を保全するための敷き砂利活動などの写真を掲載しています。また、広報誌で多くの農家・非農家を含んだ構成員が地域一体となって取り組む活動状況などを広報誌に掲載することで、構成員以外の地域の方にも活動を理解してもらうとともに、さらに興味を持ってもらえるよう意識して作成しています。ここ数年はコロナ禍の影響もあり、組織の活動が計画通りの活動とならず、運営が難しい中でも広報誌の発行を続けてきました。

☆広報誌をたくさんの方に読んでもらう工夫☆

A4用紙1枚（片面）の中に内容をコンパクトにまとめて作成しています。写真などは分かりやすさを重視しカラー印刷を採用しています。構成員が読みやすいように、所々で文字の書体を変え、文章の文字数を最小限にとどめることで、内容が一目で伝わるように工夫をしています。活動内容の写真を大きく、たくさんの方の写真を見せることで、より多くの方の目にとまりやすく、活動内容をアピールできるよう努力をしています。

ポイント1 予算及び活動計画の公表による組織運営の透明化！

毎年3月に開かれる定期総会の議題である、今年度予算と活動計画の内訳を広報誌にて公表しています。交付金の使途を明確にすることで、組織運営の透明化を図っており、構成員との信頼関係の構築につながっています。

早川地域水土里保全の会

～集落の資源・環境を守ろう～

＜ 早川地域水土里保全の会とは ＞

農地・農業用水等の大切な資源を守る環境が、高齢化や混住化等により困難になってきています。早川地域水土里保全の会は、農業者だけでなく、地域住民、自治会、老人会、子供会、関係団体等が幅広く参加できる活動組織であり、農地・用排水路など地域資源の適切な保全管理のために活動しています。

【組織構成】

【令和4年度予算額】

	予算額
1. 日 当	14,600,000
2. 機械経費	4,000,000
3. 物 材 費	1,100,000
4. 外 注 費	2,660,000
5. 事 務 費	350,000
6. その他	919,045
計	23,629,045

【活動内容】

活動月	活動内容
4月	水路清掃作業
6月	花植え作業 草刈作業
7・8月	草刈作業
9・10月	敷砂利作業 草刈作業
11月	除草剤散布作業 花片付け作業

＜ 令和3年度 早川地域水土里保全の会活動の様子 ＞

ポイント2 活動の写真を多く使用し、伝わりやすさを重視！

花植え作業や農道の敷砂利作業の様子を多くの写真で分かりやすく伝えていきます。活動の概要だけでなく、地域一体で活動に取り組む楽しさも伝わるような写真を選定する工夫をしています。

【花植え作業】

【花片付け作業】

【敷砂利作業】

参加頂いたみなさん、ありがとうございました！

早川地域水土里保全の会では、よりよい環境づくりのために、地域のみみなさまのご参加をお待ちしています。＜ 詳しくは事務局（天間林土地改良区）まで ＞

ポイント3 最後まで読んでくれた方へのお礼を忘れずに！

『あとがき』では、量こそ短いものの、自分たちの地域のことを知ってくれたお礼を忘れずに加えることで地域への思いがあふれた広報誌となっています。

■ 編集後記 ■

読者のみなさま、はじめまして。新年度となり、メルマガの担当も交代しました。引き続き、皆様にとって少しでも役に立つ情報をお届けできるよう努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。「こんな記事が読みたい！」などのご要望や、ご意見、ご感想をぜひお待ちしております。

私事ですが、4月から社会人になり上京しました。初めての東京での生活は戸惑うこともありますが、徐々に慣れて楽しんでいきたいと思っております。

今年は桜の開花も早く例年よりは暖かいと思いますが、まだまだ朝晩は肌寒いと感じます。体調管理が難しい日々が続きそうですが、皆様もどうかご自愛ください。

◇多面的機能支払メールマガジン「農村ふるさと保全通信」バックナンバー◇

https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_siharai/nouson_furusato_hozen/index.html

バックナンバーはこちらの二次元バーコードからご覧いただけます！→



◇「多面的機能支払交付金のロゴマーク」◇

ロゴマークは以下のサイトからご利用になれます。

活動内容の紹介や広報の発信などに、どんどんご活用ください！！

https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/attach/pdf/tamen_siharai-31.pdf



◇配信先メールアドレスの変更・配信解除等◇

メールアドレス等の変更やメールマガジンの配信解除等は以下のサイトから。

<https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/>

手続きにはパスワードが必要です。

お忘れの場合は、以下のサイトでパスワードを再発行して下さい。

<https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/re.html>

◇多面版 SDGs アイディアシート（案）◇

SDGs アイディアシートのダウンロードは以下のサイトから。

https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/jirei_SDGs.html

◇ご意見・ご感想等◇

メールマガジンに関するご意見・ご感想や取り上げて欲しいテーマ、ご自身の所属する活動組織の紹介文（300字程度）等に関するメールをお待ちしております！！

tamen_ml@maff.go.jp

-----【発行】-----

〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1
農林水産省農村振興局整備部農地資源課
多面的機能支払推進室（担当：細川、渡邊）
TEL：03-3502-8111（内線 5493）